特別レポート

ケニアの村を訪れ、子どもたちに囲まれながら演奏する渡辺さん（ケニア）

渡辺貞夫さん アフリカ再訪で見た日本とのきずな

in タンザニア・ケニア

ジャズのふるさとであるアフリカに、
1970年代から幾度となく訪れてきた渡辺貞夫さん。
この1月には、青年海外協力隊の活動や技術協力プロジェクトなど
JICAの協力現場を視察するため、タンザニアとケニアを訪れた。

音楽人生に影響を与えた懐かしの場所へ

「こ の曲知ってるでしょ？みんなで歌おう！」

アルトサックスを手に、子どもたちに呼びかける。アフリカの人なら誰もが知っている「マライカ」を吹き始めると、彼らが次々と歌い始め、音楽でその場が一体となった。輪の中心にいたのは、世界的に有名な音楽家の渡辺貞夫さん。2012年1月、JICAの協力現場を視察するため、タンザニアとケニアを訪れた。

渡辺さんにとって、アフリカは深い縁がある場所。なんといっても、音楽人生に影響を与えた思い出があるのだ。1974年、青年海外協力隊員が主人公の映画「アサンテサーナ」で使用する楽曲づくりのため、2カ月ほどタンザニアに滞在していたときのこと。「ちょうど独立10周年で、ダルエスサラームの広場で記念式典が行われていたのですが、そこに大統領が現れた瞬間、何千もの人々が一斉に太鼓をたたき、マリンバを鳴らし、歌を歌い始めたんです。まるで音が〝立ち上がった〟ような感覚でした。あのインパクトは、今でも忘れられない」。

灌漑施設の整備や農業技術の普及など、JICAが長年支援してきたキリマンジャロ地域を視察（タンザニア）

それからすっかりアフリカに〝はまって〟しまったという渡辺さん。その後も数えきれないほどアフリカを訪れたが、タンザニアとケニアは90年代に訪れて以来の久しぶりの再訪となった。

音楽を取り入れた協力隊員の活動に感動

タンザニアでの視察先の一つが、ダルエスサラームのチャゴンベ小学校。ここでは、古賀裕希隊員（青少年活動）が小学生にHIV／エイズ予防や薬物依存防止などのために啓発活動を行っている。HIV／エイズとは何か。予防するにはどんなことに気をつけたらよいか―。授業形式ではなく、演劇や歌にその内容を盛り込み、子どもたちに覚えてもらうことで理解を促していた。「アフリカの子どもたちにとって音楽は生まれたときから身近にあるもの。それをうまく取り入れて活動に生かしているのがアフリカらしいと思う」と渡辺さんは話す。

やぐらを立てて人力で井戸を掘る「上総掘り」の技術をJICAの草の根技術協力事業で村人に伝える（ケニア）

また、キリマンジャロ地域では稲作振興の取り組みも視察。「日本は70年代から、灌漑整備の〝ハード面〟と人材育成の〝ソフト面〟を共に支援し、この地域での灌漑農業を後押ししてきた。渡辺さんが実際に訪れたローアモシ地区には100ヘクタールという広大な水田が広がっており、ここでは日本が整備した灌漑施設を使って、水の管理や農業の機械化など新たな農業技術の普及支援も行われていた。「まるで日本のような田園風景で驚きました。長年にわたる日本の支援が生かされ、それが実を結んできていると実感できた」と渡辺さんは話す。

視察の後半はケニアへ。首都ナイロビから南東に約240キロ、ロイトキック県で視察したのはJICAの草の根技術協力事業で行われている井戸の掘削現場だ。干ばつによるこの地域の深刻な水不足を軽減するため、NPO法人インターナショナルウォータープロジェクトの大野篤志・比佐代夫妻が「上総掘り」と呼ばれる井戸掘り技術を地域の住民に指導している。大野さんから、「日本では竹でやぐらを組んで井戸を掘りますが、ここには竹がないので代わりに木を使っています」という説明を受けた渡辺さんは「この土地にあるものを使い、将来的に住民たちが自分たちで維持管理できることが大切なんですね」と話した。

最も印象に残っているのは協力隊員の活動だという。「活動地域は町から離れたところだし、周辺には建物らしい建物が何もないことだってある。最初は言葉も通じない中で苦労も多いと思いますが、よくやってくれていると感謝の気持ちでいっぱいです。若いときに外に出て、その土地の人々と直に付き合う経験は自分を客観的に見るチャンスであり、人生の大きな財産になると思います」。

約2週間にわたるタンザニア・ケニアの視察を終えた渡辺さんは、「日本は長年アフリカを支援し、さまざまな活動が根付き始めている。それを支えているのは、実際に現場でその土地の人々と共に活動する日本人たち。彼らに会ったことで、そう強く実感しました」と話す。視察先の多くでサックスの演奏を届け、さらに大学での演奏会や音楽イベントなどにも出演して現地の人々と交流を深めた渡辺さん。今後も音楽を通して、日本とアフリカのきずなを深めたいと考えている。

青年海外協力隊の森野祥希隊員（村落開発普及員）は、村人とともに地図を作成。生活向上に向けて自分の村のどこにどんな資源があるか知ることから始めた（タンザニア）

Sadao's photos

行く先々で子どもたちの無邪気な笑顔に出会った

© Sadao Watanabe

アフリカでは歌うことは踊ること。圧倒される天性のリズム感

© Sadao Watanabe

チャバカリ中学校で一緒に演奏したブラスバンドの男の子

© Sadao Watanabe